



平成20年2月13日

各位

株式会社アルプス技研
IR・広報室

平成19年12月期通期業績の概況及び平成20年12月期の業績ならびに配当予想について

株式会社アルプス技研の平成19年12月期(平成19年1月1日～平成19年12月31日まで)業績の概況及び平成20年12月期の業績ならびに配当予想につきまして下記ご説明申し上げます。

【Ⅰ】平成19年12月期連結業績

(1) 連結業績の主要数値(金額は百万円未満切捨て、パーセントは小数点第二位四捨五入)

	当 期	[前 期 比]
売 上 高	224億7,300万円	[8億8,100万円増、4.1%増]
営 業 利 益	16億900万円	[2,300万円増、1.5%増]
経 常 利 益	15億7,700万円	[8,800万円増、6.0%増]
当 期 純 利 益	9億5,900万円	[5億4,800万円増、133.3%増]

(2) 事業のセグメント別売上(金額は百万円未満切捨て、パーセントは小数点第二位四捨五入)

	当 期	[前 期 比]
アウトソーシングサービス事業	219億1,400万円	[10億7,600万円増、5.2%増]
そ の 他 事 業	5億5,900万円	[1億9,400万円減、25.8%減]

平成19年12月期連結売上高は、アルプス技研の「蓼科テクノパーク」での「モノづくり事業」の縮小と暦日稼働日数減による派遣稼働時間の減等の影響がありましたが、「事業の選択と集中」の結果、通期では224億7,300万円(前期比8億8,100万円増、4.1%増)となり、連結決算史上最高の売上高となりました。

損益面では売上総利益が前期比6億4,600万円増、12.3%増となりましたが、販管費が技術者採用コストの増加等によって同6億2,300万円増、17.0%増となり、営業利益は16億900万円(前期比2,300万円増、1.5%増)、また営業外費用の減により経常利益は15億7,700万円(同8,800万円増、6.0%増)となりました。当期純利益は、前期特別損失に計上しました減損損失などの減によって9億5,900万円(同5億4,800万円増、133.3%増)と、連結決算史上最高の純利益を上げることができました。

事業のセグメント別売上では、技術者派遣を主体とする「アウトソーシングサービス事業」が派遣稼働時間減により7～9月の成長率が前期比1.6%増と緩やかになりましたが、通期では稼働人員増や単価改定等により219億1,400万円(前期比10億7,600万円増、5.2%増)となりました。「その他事業」の減収は、前述しましたようにアルプス技研の「モノづくり事業」の縮小によるものです。

【Ⅱ】平成19年12月期個別(アルプス技研)業績

(1) 個別(アルプス技研)業績の主要数値(金額は百万円未満切捨て、パーセントは小数点第二位四捨五入)

	当 期	[前 期 比]
売 上 高	186億3,700万円	[4億2,800万円増、2.4%増]
営 業 利 益	15億8,000万円	[7,500万円増、5.1%増]
経 常 利 益	16億4,900万円	[7,900万円増、5.0%増]
当 期 純 利 益	4億9,300万円	[5,900万円増、13.8%増]

(2) 個別(アルプス技研)事業のセグメント別売上(金額は百万円未満切捨て、パーセントは小数点第二位四捨五入)

	当 期	[前 期 比]
アウトソーシングサービス事業	183億4,000万円	[6億5,600万円増、3.7%増]
そ の 他 事 業	2億9,700万円	[2億2,700万円減、43.4%減]

アルプス技研の売上高は、連結でご説明申し上げましたように「モノづくり事業」の縮小による「その他事業」の減収と暦日稼働日数減による派遣稼働時間減の影響を受けましたが、大手取引先や多忙な業種への「経営資源の再配分」により、通期で186億3,700万円(前期比4億2,800万円増、2.4%増)となりました。

損益面では技術者採用コスト増等による販管費増を売上総利益増で吸収し、営業利益は15億8,000万円(前期比7,500万円増、5.1%増)、経常利益は16億4,900万円(同7,900万円増、5.0%増)となり、売上高、営業利益、経常利益共に過去最高額となりました。また持分法適用会社の株式評価損(1億6,800万円)を特別損失に計上しましたが、当期純利益は4億9,300万円(同5,900万円増、13.8%増)となりました。

(3) 売上上位100社による主要業種別売上高構成(総売上高の80.0%)

(金額は百万円未満切捨て、パーセントは小数点第二位四捨五入)

	当期売上高	前期比	売上高構成比	
			当期	前期
自動車(含むナビ・オーディオ)	42億7,900万円	3.7%増	28.7%	29.8%
家電	19億8,000万円	32.2%増	13.3%	10.8%
半導体	19億800万円	38.6%増	12.8%	10.0%
精密機器	34億1,200万円	1.7%増	22.9%	24.2%
その他(携帯電話、ソフト開発他)	33億2,500万円	4.3%減	22.3%	25.2%
100社合計	149億400万円	7.8%増	100.0%	100.0%

自動車向けは、ナビ・オーディオを除きますと13.3%増、精密機器のうちカメラメーカーは61.2%増になっています。家電向けは新規大手取引先向け売上、半導体関連向けは家電同様に新規取引先を含めデジタル家電やデジタルカメラの新製品開発競争を背景としたLSI設計を中心に売上増が大きいことが当期の特徴となっています

(4) 派遣稼働率、派遣稼働時間、派遣単価

	全派遣技術者平均		除く新卒派遣技術者	
	当期	前期	当期	前期
稼働率	94.5%	95.0%	96.1%	97.3%
稼働時間	177.7H/月	180.0H/月	178.1H/月	180.4H/月
単価	3,627円/H	3,500円/H	3,658円/H	3,523円/H

当期の派遣稼働率が前期を下回った理由は、暦日稼働日数減による稼働時間減に起因しています。

【Ⅲ】平成20年12月期通期業績予想並びに配当予想について

平成20年12月期通期業績につきましては、不確実な環境に直面しておりますが、製造業における新製品開発・設計業務には急激に大きな影響を受けないとみて、下記のとおり予想しております。

(なお実際の業績等は諸般の情勢変化等により本予想と異なる場合があります。)

(金額は百万円未満切捨て、パーセントは小数点第二位四捨五入)

平成20年12月期中間(平成20年1月1日～6月30日)業績予想

	連 結		個 別(アルプス技研)	
	中間期予想	[前期比]	中間期予想	[前期比]
売上高	118億4,000万円	7億1,800万円増、6.5%増	97億8,000万円	6億7,700万円増、7.4%増
営業利益	7億1,000万円	1億100万円減、12.5%減	7億3,000万円	2,800万円増、3.9%増
経常利益	7億3,000万円	8,900万円減、10.9%減	7億8,000万円	2,800万円増、3.6%増
当期純利益	4億1,000万円	1億4,000万円減、25.6%減	4億5,000万円	増減なし、0.0%

平成20年12月期(平成20年1月1日～12月31日)業績予想

	連 結		個 別(アルプス技研)	
	通期予想	[前期比]	通期予想	[前期比]
売上高	243億円	18億2,700万円増、8.1%増	200億5,000万円	14億1,300万円増、7.6%増
営業利益	17億2,000万円	1億1,100万円増、6.8%増	16億5,000万円	7,000万円増、4.4%増
経常利益	17億5,000万円	1億7,300万円増、11.0%増	17億3,000万円	8,100万円増、4.9%増
当期純利益	10億5,000万円	9,100万円増、9.4%増	10億円	5億700万円増、102.8%増

上記業績予想に基づき、配当金は中間期1株当たり20円、期末1株当たり28円、通期1株当たり48円と予想しています。

以上